

令和3年度 京都市歴史資料館 評議委員会議

- 議 題
- 令和3年度事業報告説明
 - 令和4年度事業計画（案）説明
 - 歴史資料館運営予算について

京都市歴史資料館 評議委員会議 配布資料

- 資料1 京都市歴史資料館評議委員名簿
- 資料2 座席表
- 資料3 京都市歴史資料館評議委員会議開催要綱
- 資料4 令和3年度事業報告
- 参考資料 別紙1 概要
- 参考資料 別紙2 利用状況
- 参考資料 別紙3 資料の収集状況
- 資料5 令和4年度事業計画（案）
- 資料6 京都市歴史資料館 歳入・歳出 予算・決算額 推移表
- 資料7 令和2年度京都市歴史資料館評議委員会議 議事録
- チラシ 平安京復元模型 音声ガイドの使い方

京都市歴史資料館評議委員名簿

令和3年4月1日現在

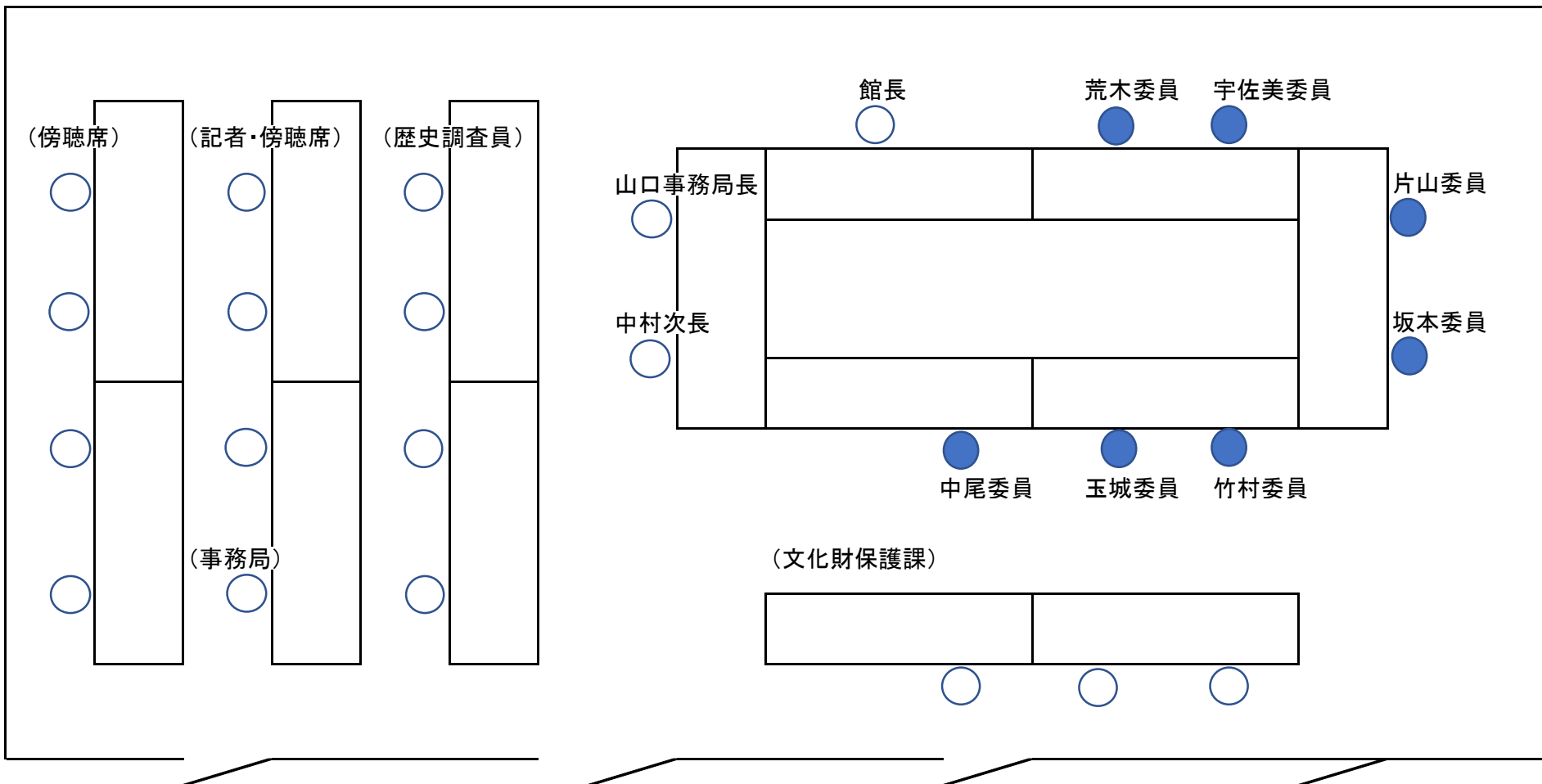
氏 名	役 職 等	専 門 分 野
荒木かおり	川面美術研究所所長	彩色復元
宇佐美英機	滋賀大学 名誉教授	日本近世史・経営史
片山真理子	東京芸術大学美術学部附属古美術研究施設非常勤講師	美術史
坂本 博司	宇治市歴史資料館 前館長	地域史・食文化史
竹村 佳子	元学校歴史博物館 学芸員	生涯学習・社会教育
玉城 玲子	向日市文化資料館 館長	地域史・中世史
中尾 亮弘	市民公募	

(敬称略, 50音順)

京都市歴史資料館評議委員会議 座席表

日時: 令和4年3月3日(木) 午後1時30分~3時

場所: 職員会館かもがわ 3階 大多目的室



資料3

京都市歴史資料館評議委員会議開催要綱

(平成25年11月15日決定)

(趣旨)

第1条 京都市歴史資料館の展示、講座、調査研究その他の業務について、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的として、京都市歴史資料館評議委員会議（以下「会議」という。）を開催する。

(委員)

第2条 会議に参加する委員は、学識経験のある者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が依頼する。

2 前項の規定により依頼する委員の人数は、7人以内とする。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会議の招集)

第4条 会議は、歴史資料館長（以下「館長」という。）が招集する。

(補則)

第5条 この要綱に定めるもののほか、会議の開催に関し必要な事項は、館長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、決定の日から施行する。

(経過措置)

2 平成27年3月24日までの間、会議の委員の人数は、第2条第2項の規定にかかわらず、10人とする。

3 この要綱の施行の際現に京都市歴史資料館評議員規則に基づく京都市歴史資料館

評議員である者は、この要綱の施行の日（以下「施行日」という。）に会議の委員として依頼されたものとみなす。この場合において、その依頼されたものとみなされる者の任期は、第3条第1項本文の規定にかかわらず、施行日における京都市歴史資料館評議員としての任期の残任期間とする。

令和3年度事業報告

1 展示

(1) 京都市歴史資料館

種 別	テ ー マ	内 容	期 間	入館者数	一日平均 ・経 費
【 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月25日より5月31日の間（28日間）、 令和3年8月20日より9月30日の間（37日間）、計65日間閉館 】					
テーマ展	「京の歴史をつたえる ー京都市歴史資料館 名品展2ー」 担当：井上	歴史資料館では、「京都の歴史」に関わる資料を長年にわたって、調査・収集してきました。その多くは、市民や地域の団体の皆さまから御寄贈・御寄託をいただいたもので、古くから京都の歴史に関心を抱く方々が大切に保管されてきた貴重な資料ばかりです。こうした収蔵資料の中から、歴史資料館の視点で選んだ名品を御紹介する企画として、中世から近現代までの収蔵品の数々を紹介しました。	3. 12～ 4. 24 6. 1～ 6. 13 (49日間) (令和3年度33日間) ギャラリートーク 3. 28 ナイトミュージアム 4. 13 (ギャラリートーク) ギャラリートーク 5. 11 ギャラリートーク 6. 8	・目標入場者数 2,970人 (1日平均約90人) → 1,822人 10人 30人 (7人) 中止※ 6人	55.2人 R2 91,850円
特別展	「こんにちは京都市電 ー京都市電関係資料 をひもとくー」 前期：はじめての京都市電ー初級編 後期：熱中！京都市電ー上級編 (監修：京都市文化財保護課・京都市電関係資料調査会) 担当：野地	京都市電のあゆみを記録した公文書「京都市電関係資料」が令和3年3月に京都市有形文化財に指定されました。877冊に及ぶ資料の中から、都市計画に沿った軌道の敷設や延長、車両の新造や改造、災害や戦時中のこと、京都の景観や祇園祭にかかわることなどいくつかの簿冊を取り上げ、それにまつわる今昔の地図や古写真などをあわせて展示しました。京都のまちとともに発展し、役目を終えた京都市電。その後を担い、市民の足となった市営地下鉄が開業40周年を迎える本年、市電資料をひもとき、再び京都市電に出会う機会としました。	入館者数・一日平均入館者数⇒過去最高 前期：6. 18～ 8. 19 (55日間) ギャラリートーク おとな向け 7. 4 ギャラリートーク 子ども向け 7. 25 ナイトミュージアム 8. 4 後期：10. 1～12. 5 (57日間) ナイトミュージアム10. 2 ナイトミュージアム11. 5 ギャラリートーク11. 21 ナイトミュージアム12. 3	・目標入場者数 12,320人 (1日平均約110人) → 17,550人 (前期) 7,817人 30人 24人 38人 (後期) 9,733人 25人 10人 35人 51人	156.7人 367,000円
特別展	岩倉使節団150年記念 「岩倉具視と米欧回覧」 担当：松中	2021年は、明治政府がアメリカ・ヨーロッパ諸国に派遣した使節団が日本を出発してから150年にあたります。岩倉具視はこの使節団の特命全権大使をつとめました。 ペリー来航と開国から、幕末の政争を経て、明治国家の出発に至る激動の時代において、岩倉はどのような対外関係のあり方を描いていたのでしょうか。また、米欧回覧で得た経験を、岩倉はその後の日本にどう生かそうとしたのでしょうか。 重要文化財「岩倉具視関係資料」などの史料から紹介しました。	12. 10～令和4. 2. 13 (49日間) ギャラリートーク12. 21 ギャラリートーク 1. 15 ナイトミュージアム 1. 28 ギャラリートーク 2. 5	・目標入場者数 4,900人 (1日平均約100人) → 4,941人 17人 16人 8人 22人	100.8人 129,250円
ミニ展示	「平安京復元模型音声ガイドシステム完成記念ミニ展示」 担当：野地	平安京の歴史などを平安京復元模型のパネルや音声ガイド（多言語）システムをつかって紹介しました。 音声ガイド（多言語）システム構築は、大学生の人材育成も目的としています。	11. 12～ (令和3年度107日間)	—	実行委員会負担(参考) 306,300円

企画展	「村の“さむらい”たち 一刀を差した農民もいたー」 担当：井上	明治時代までの京都は、市街地の四周を農村が囲んでいました。その村々のなかには、「郷土」と呼ばれる人々が暮らしていたところもありました。百姓でありながら、武士としての側面ももっていた「郷土」のようすを、主に古文書によって紹介します。	2.18～ 5.15 (71日間) (令和3年度35日間) ギャラリートーク 2.26 ギャラリートーク 3. 8	・目標入場者数 令和3年度 3,150人 (1日平均約90人) 2月末現在 → 611人 29人 —	2月末現在 76.4人 (見込み) 116,000円
-----	------------------------------------	---	---	--	-------------------------------------

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(参考)

- ・会期中、原則毎月1回ギャラリートーク(30分間程度)を行っている。
その内の1回は、20時までのナイトミュージアム(夜間開館)の時間帯に実施している。
- ・第1回 まん延防止等重点措置 令和3年4月12日～4月24日(13日間)
- ・第3回 緊急事態宣言 令和3年4月25日～6月20日(57日間)
閉館：令和3年4月25日～5月31日(28日間)
- ・第2回 まん延防止等重点措置 令和3年6月21日～7月11日(21日間)
- ・特措法第24条第9項に基づく要請 令和3年7月12日～8月1日(21日間)
- ・第3回 まん延防止等重点措置 令和3年8月2日～8月19日(18日間)
- ・第4回 緊急事態宣言 令和3年8月20日～9月30日(42日間)
閉館：令和3年8月20日～9月30日(37日間)
- ・第4回 まん延防止等重点措置 令和4年1月27日～3月6日(39日間) ※延長の可能性有

(2) 連携企画展

ア 特別展「こんにちは京都市電—京都市電関係資料をひもとく—」の開催に合わせて

京都鉄道博物館

「関西の鉄道」コーナーでミニ展示

内容：「京都市電・市営地下鉄のあゆみ」

日時：6月19日～8月29日

内容：「京都の鉄道と琵琶湖疎水」

日時：9月4日～11月7日

琵琶湖疎水記念館

内容：「琵琶湖疎水が支えた京都市電—水力発電が果たした役割—」

日時：6月18日～9月26日

京都市考古資料館

企画陳列1：「汽車土瓶と転車台の煉瓦」

日時：6月18日～8月1日

企画陳列2：「地下鉄烏丸線の発掘調査」

日時：8月6日～9月26日

企画陳列3：「地下鉄東西線の発掘調査」

日時：10月1日～11月7日

イ 特別展 岩倉使節団150年記念「岩倉具視と米欧回覧」の開催に合わせて

霊山歴史館 コーナー展示「岩倉具視と岩倉使節団」

日時：9月14日～令和4年1月23日

2 講座等

(1) 京都市歴史資料館

講座名	テーマ・内容	開催月日	会場	講師	受講者数・経費
親子で金工 ワークショップ	「市電オリジナルピンバッジをつくろう！」	8. 4 ①11:00～ ②13:00～ ③15:00～	鳴沂会館	一般社団法人 伝統技術伝承 者協会	6組 15人 5組 13人 5組 12人 9,700円
金工 ワークショップ	「伝統技法で市電オリジナルピンバッジをつくろう！」	10. 16 ①11:00～ ②13:00～ ③15:00～	新島会館	一般社団法人 伝統技術伝承 者協会	4組 8人 3組 7人 4組 10人 22,000円
歴史講演会	平安京復元模型音声ガイドシステム構築 事業関連講演会「平安京復元模型の魅力」 第1回 平安京復元模型のみどころを探る 第2回 平安京と平安京模型のひみつ	第1回 7. 17 第2回 8. 21	京都アスニー	長宗繁一 宇野日出夫	85人 72人 実行委員会 負担(参考) 117,960円
	平安京復元模型音声ガイド完成記念講 演会「平安京復元模型を考えるー模型 から見えるもの・見えないものー」	11. 3	京都アスニー	井上満郎	176人 実行委員会 負担(参考) 28,710円
シンポジウム 共催：鉄道友の会京都支部 京都市電関係資料調査会 市電シンポジウム実行委員会	京都のまちと京都市電 基調講演第1部 講師：須田 實（東海旅客鉄道株式会社顧問，鉄道友の会会長） 演題：「京都市電の発展期を支えた車両たち」 基調講演第2部 講師：小野田滋（鉄道総合技術研修所，京都市電関係資料調査会会長） 演題：「鉄道遺産としての京都市電」 パネルディスカッション パネリスト：小野田滋（鉄道総合技術研修所，京都市電関係資料調査会会長） 加藤幸弘（京都市電関係資料調査会，鉄道友の会京都支部長） 遠藤晃一（京都市電関係資料調査会） 岡本健一郎（京都鉄道博物館学芸員） コーディネーター：大菅 直（京都市電関係資料調査会） テーマ：「京都市電関係資料をひもとく」	10. 2	京都アスニー	↓	150人 80,887円 実行委員会 収入(参考) 117,000円 実行委員会 負担(参考) 117,000円
歴史講座	特別展 岩倉具視使節団150年記念 「岩倉具視と米欧回覧」	12. 16	新島会館	松中	54人 33,000円
連続講座 「古文書を楽しく 読もう！」	A組（初級編「古文書入門」） 13時 B組（中級編「洛中寄宿仲間関係文書 を読む」） 15時	春期連続講座 5. 19～ 毎水4回	新島会館	井上 野地	中止※ 中止※
	A組（初級編「古文書入門」） 13時 B組（中級編「洛中寄宿仲間関係文書 を読む」） 15時	秋期連続講座 11. 17～ 毎水4回	新島会館	井上 野地	36人 45人 132,000円 【収入】 324,000円
ギャラリートーク	おしえて市電ハカセ！ギャラリートーク	7. 4 おとな向け 7. 25 こども向け 11. 21	歴史資料館	文化財保護課	30人 24人 35人
	岩倉使節団150年記念 「岩倉具視と米欧回覧」	ギャラリートーク12. 21 ギャラリートーク 1. 15 ギャラリートーク 2. 5	歴史資料館	松中	17人 16人 22人
	「村の“さむらい”たち ー刀を差した農民もいたー」	ギャラリートーク 2. 26 ギャラリートーク 3. 8	歴史資料館	井上	29人 15人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 連携講座

ア 特別展「こんにちは京都市電—京都市電関係資料をひもとく—」の開催に合わせて

京都府立京都学・歴史館 京都学ラウンジ・ミニ講座

主催・場所：京都府立京都学・歴史館
 日時：8月5日・12日・19日・10月28日
 講師：京都市文化財保護課・京都市電関係資料調査会（各回交代）

京都鉄道博物館 おとなの学び講座

主催・場所：京都鉄道博物館
 日時：7月15日
 講師：加藤沙織（鉄道博物館司書） 演題：「京都の市営交通について」

京都市考古資料館 文化講座・アスニー京都学講座

主催：京都市考古資料館
 場所：京都アスニー
 日時：9月25日
 講師：永田信一（元京都市考古資料館館長）
 演題：「地下鉄烏丸線の発掘調査」

3 講師派遣(他機関主催講座等への出講)

講座名	テーマ・内容	期日	会場	講師	受講者数	
御所南小学校授業	元学区の歴史	7. 8 11. 11	御所南小学校	松中	4クラス (リモート)	
AI を活用した古文書ワークショップ	翻訳システムを体験してみよう！ 江戸時代のお触れを読んでみよう！ 江戸時代の町のきまりを読んでみよう！ 岩倉具視の手紙を読んでみよう！（1） 岩倉具視の手紙を読んでみよう！（2） みんなで江戸時代のお触れを読んでみる	9. 17 10. 8 10. 15 11. 19 11. 24 1. 21	ひと・まち・交流館	松中	中止※ 24人 19人 18人 9人 12人	
京都府立鴨沂高等学校授業	歴史文化体験 5	12. 11	鴨沂高等学校	井上	21人	
アスニー京都学講座	明治国家の出発と 岩倉具視	12. 25	京都アスニー	松中	65人	
京都府立京都学・歴史館との連携（再掲）	京都学ラウンジ・ミニ講座 （京都市共催）	「京都市電関係資料」の文化財指定について	8. 5	京都学・歴史館	山下絵美	67人
		京都市電の運転面の魅力を探る	8. 12		加藤幸弘	64人
		重要文化財「京都電気鉄道電車（京都市交通局2号電車）平安神宮所有」について	8. 19		遠藤晃一	55人
		京都市電とまちづくり	10. 28		大菅 直	71人
	京都学ラウンジ・ミニ講座 （京都市共催）	特別展「岩倉具視と米欧回覧」の概要について	12. 2	京都学・歴史館	松中	66人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 見学会

ア デジタル・スタンプラリー「京都市電, 思い出探訪」

企画展の開催に合わせ開催しました。スマートフォンアプリ「京都遺産めぐり」において、連携展示4館を含めた市電に関する施設をめぐるコースのほか、市電跡などをめぐるコースなど、全3コースのデジタルスタンプラリーを開催しました。達成するとそれぞれ先着順で景品

を贈呈しました。

[コースその1]なるほど!「まなぶ編」—京都市電を展示施設で学ぼう

開始日：6月18日

コース：京都鉄道博物館(下京区)⇒梅小路公園(下京区)⇒琵琶湖疎水記念館(左京区)⇒京都市考古資料館(上京区)⇒京都市歴史資料館(上京区)

[コースその2]感動!「めぐる編」—京都市電記念の地をめぐる

開始日：7月27日

コース：「電気鉄道事業発祥の地」石碑(伏見駿河屋前)⇒伏見稲荷停留所跡(伏見稲荷大社前)⇒「電気鉄道事業発祥地」石碑(京都駅前)⇒「京都市電北野線記念碑」石碑(今出川御前)⇒「京都市営交通事業記念碑」石碑(壬生操車場前)

[コースその3]見つけた!「さがす編」—京都市電のおもかげを探そう

開始日：9月3日

コース：京都市電烏丸車庫・北大路検車場(北大路)⇒北野線橋台跡(堀川中立売)⇒架線柱土台(蹴上)⇒蹴上発電所 水利事務所徽章(蹴上)⇒架線柱(九条車庫西側入口付近)⇒竹田橋溝付レール橋脚(竹田)

イ 平安京復元模型音声ガイドシステム構築事業関連見学会「平安宮遺跡を歩こう！」

京都アスニー周辺の平安宮遺跡をめぐり、平安京創生館で平安京復元模型を見ながら見学した場所を振り返りました。

- ・1回目 令和3年10月9日 井上幸治(京都市歴史資料館館員) 10組21人
- ・2回目 令和3年10月23日 永田信一(元京都市考古資料館長) 20人

ウ スタンプラリー 特別展 岩倉使節団150年記念「岩倉具視と米欧回覧」の開催に合わせて

※左京・地域ゆかりの文化発信・継承プロジェクト(左京区役所等との連携)

京都市歴史資料館と岩倉具視幽棲旧宅の両施設に入館し、スタンプを集めていただいた方に岩倉具視ゆかりの手拭(京都精華大学生によるオリジナルデザイン)を抽選で80名にプレゼントしました。

受付期間：令和3年12月10日～令和4年2月13日

エ 関連見学会

特別展「こんにちわ京都市電—京都市電関係資料をひもとく—」の開催に合わせて

「まいまい京都」街あるきツアー

市電の走った道のりを平安神宮から歴史資料館まで案内しました。

主催：まいまい京都

【第1回】 日時：6月19日

講師：大菅直(京都市電資料調査会調査員)

参加者数：18名

【第2回】 日時：10月24日

講師：加藤 幸弘(京都市電関係資料調査会、鉄道友の会京都支部長)

遠藤 晃一(京都市電関係資料調査会、京都市交通局OB)

参加者数：19名

5 資料の調査・収集・整理・保存・研究

京都の歴史に関する研究センターとしての役割を担うため、京都市域の歴史に関する古文書などの調査・収集に、大学等の外部研究機関とも連携して進め、収集資料の整理・保管・研究を行いました。

(1) 収蔵資料のデジタル化事業

歴史資料館に蓄積された多くの貴重な収蔵品について、目録・画像データのデジタル化を進め、検索を容易にし、最終的にはインターネット等において収蔵品の魅力の発信に努めます。

令和3年度は、京都市の危機的な財政状況のもとでの行財政改革の影響もあり、予算の継続的確保はかなわなかったが、古文書等の目録整備を引き続き進めました。

【松中，野地，井上，尾下】

(2) 京都市の個人所有古文書調査事業の実施

個人所有の古文書調査は、目録の作成、高精細デジタル撮影による資料整理を行い、目録を刊行・公開することにより、資料の有効活用に加え、資料の散逸を防ぎ、将来的な資料の保存に努めることを目的とし、令和元年度より4ヵ年計画で、文化庁の「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」の国庫補助を受け、大学教授らを中心とする京都市古文書調査会（歴史資料館職員も参加）に委託し、実施しています。

令和3年度は、「熊谷（純）家文書」約400点を追加借用、調査及び「熊谷（純）家文書」、「下村（忠）家文書」両文書のデジタル撮影、詳細目録（資料の大きさや形状、内容など）の作成を行いました。

【秋元】

(3) 京都女子大学母利研究室との連携による善峯寺・金蔵寺調査

8月17日，18日及び11月4日に現地での資料調査を行いました。

3月23日，24日も資料調査の予定をしております。

【秋元，野地】

(4) 文化庁の興聖寺一切経調査

歴史資料館からも調査に参加していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断しています。

【野地，井上】

(5) 国文学研究資料館による画像データ作成

山本家典籍（京都市指定文化財）の画像データ作成の今後の進め方について協議しました。具体的には、資料の搬出に向けた調整が困難なため、スキャナーの貸出で対応することを提案しました（諸費用は国文学研究資料館が負担。）。

【松中】

(6) 大谷大学による今江家文書調査

所蔵者の了解の下、大谷大学へ今江家文書を貸し出し、京都市の指定に向けた調査を行いました。文書は大学博物館収蔵庫にて管理します。

【松中】

(7) 東京大学史料編纂所による岩倉具視関係資料調査

東京大学史料編纂所において、対岳文庫から京都市に寄贈された岩倉具視関係資料の本格調査・デジタル撮影を行いました。

- ・令和3年9月29日、30日 来館の上打ち合わせ・調査
- ・令和4年3月2日～ 1,200コマ撮影予定（光楽堂）

【松中】

(8) 八瀬童子関係資料の修理

当館に寄託されている重要文化財八瀬童子関係資料の文書・記録類650点のうち、令和3年度分の修理を行いました。

【松中】

6 地域と共働した博物館創造活動支援事業

（京都の複数の歴史文化施設がクラスターを形成し、多様な事業を展開）

地域の文化財の魅力発信、地域振興など、美術館・歴史博物館を中核とした関係機関との連携による文化クラスター創出に向けた取組を支援する文化庁の補助事業を活用した「京都歴史文化施設クラスター実行委員会」に参画しています。

令和3年度は、京都アスニーと共同で、平安京復元模型音声ガイドシステムの構築に取組み、各種関連事業を実施しました。

【野地】

新たな多言語化サービス創出プロジェクト(歴史資料館・京都アスニー共催事業)

平安京復元模型に関する音声ガイド（多言語）システムを作成するとともに、システム構築を通じて平安京や地域等に精通する人材を育成しました。

① ミニ展示会 ガイドシステムを活用した展示会（再掲）

令和3年11月12日～

② 歴史講演会 模型や平安京の歴史などを周知する目的の講演会（再掲）

●平安京復元模型音声ガイドシステム構築事業関連講演会「平安京復元模型の魅力」

- ・令和3年7月17日 第1回 平安京復元模型のみどころを探る

講師：長宗繁一，受講者数：85人

- ・令和3年8月21日 第2回 平安京と平安京模型のひみつ

講師：宇野日出夫，受講者数：72人

●平安京復元模型音声ガイド完成記念講演会

- ・令和3年11月3日 「平安京復元模型を考える ―模型から見えるもの・見えないもの―」 講師：井上満郎，受講者：176人

③ 見学会 模型や平安京の歴史などを周知する目的の見学会（再掲）

- ・1回目 令和3年10月9日 井上幸治（京都市歴史資料館館員） 10組21人

- ・2回目 令和3年10月23日 永田信一（元京都市考古資料館長） 20人

7 「京都祇園祭の山鉾行事」歴史資料調査事業への協力

山鉾連合会は、2023年に設立100周年を迎えることから、近代の祇園祭の資料調査を行い、その研究成果を蓄積し、記念誌などが作成されます（令和2年度から6年度の5ヵ年事業）。

このうち、山鉾町関連資料や八坂神社関連資料の調査に協力しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため作業は遅れておりますが、年度末には2冊目の報告書がまとまる予定です。

【野地：山鉾町関係，吉住：八坂神社関係】

8 資料館外貸出

他の博物館や美術館での展覧会に，当館の館蔵及び寄託資料を貸し出し出陳する依頼があった場合，貸出申請の手続きや資料の貸出・返却時に立ち会うなどの業務を行ないました。

【吉住，（井上）】

9 画像利用許諾

館蔵及び寄託資料について，主に以下のような理由で資料の撮影や画像使用を希望される場合，特別利用や掲載許可の申請手続きや画像データの提供・撮影時の立ち会いなどを行いました。

—特別利用の申請—

- (1) 原資料を写真撮影・ビデオ撮影する。
- (2) (1) で撮影した画像や当館が提供した画像データを使用して，テレビ番組等で放送したり，オンデマンド配信する。
- (3) 大学の授業や各種講演会の際に，PowerPoint 等で画像を使用し，それをオンデマンド配信する。

—掲載許可の申請—

- (4) 出版物に図版として写真を掲載する（電子書籍版も含む）。

歴史資料館の所蔵資料の画像データについては，令和2年度まで使用目的にかかわらず，貸出申請のうえ無料で提供してきましたが，出版物等の商業目的については，利用者に一定の利益が見込まれることから，令和3年度から「京都市歴史資料館貴重資料特別利用取扱要綱」に基づき画像貸出に係る経費を負担願っています。

【収入】令和4年2月末現在 128件 512,000円

【吉住，（井上）】

10 貴重資料閲覧

館蔵及び寄託資料について，主に以下のような理由で原資料の閲覧を希望される場合，貴重資料の閲覧許可申請の手続きや貴重資料の閲覧に立ち会うなどの業務を行ないました。

- (1) 閲覧希望資料が整理中で，未だ写真撮影がされていない。
- (2) 撮影済みで写真帳として公開しているが，写真では不鮮明な細部の確認を必要とする。
- (3) 博物館や美術館での展覧会に原資料の出陳を申請するに際しての事前調査。

【吉住，（井上）】

11 歴史的公文書の調査・指定

歴史的公文書の調査及び指定を行いました。

(参考)

指定件数 1,792件（令和3年12月31日現在）

内訳：市参事会文書 156件，編入町村引継文書 573件，その他 1,063件

※ 令和3年4月，総合企画局政策企画調整担当文書（府市協議，国家予算に関する要望）69件，その他1件，計70件を追加。

【秋元】

12 資料の供用・普及

収集・撮影した古文書などの資料及び所蔵する図書の整理・公開を進めます。また市民の方からの歴史に関する相談に対応しました（参考資料 別紙2参照）。

【歴史調査員】

13 「叢書 京都の史料」の再版

歴史資料館の古文書調査の成果をもとに、史料集の刊行を行ってまいりましたが、人気が高く完売し、要望の高い叢書を再版しています。

令和3年度は、平成29年度刊行の第15回配本「久多荘文書」を再版し、2月から販売しました。

【野地】

14 情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」の運営

京都市内にある歴史的資源の情報を、情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」として、インターネットで発信しています。項目の追加・修正を中心に、サイト運営を行いました。

【井上】

15 博物館実習生の受入

京都市内の各大学からの要請を受け、博物館実習生を受け入れ、館員の指導による実習を実施しました。

・期日 令和3年10月10日、16日、22日、24日、30日の5日間

京女2人、京都橘2人、同志社1人、大谷1人 計6人

※当初8月24日～28日に予定していたが、第4回緊急事態宣言の発出に伴い延期。

【秋元】

16 収蔵環境の向上

本市の財政状況を踏まえると、今後10年間は現施設を活用することを前提に機能維持を図ることが必要なことから、今後の収蔵環境を検討するため、収蔵庫環境調査を実施（令和3年3月）しました。

その結果、収蔵環境が悪化していることが確認されたことから、早急な対策を実施しました。

- ・モニタリングトラップ調査
- ・浮遊菌調査
- ・収蔵庫 IPM メンテナンス（専門業者による清掃を含む。）
- ・収蔵庫等虫害緊急対策処理
- ・資料燻蒸処理（専門業者作業施設）
- ・除湿器設置
- ・サーキュレーター（空気循環器）設置

また、展示室についても展示環境が悪化していることが確認されたことから、早急な対策を実施しました。

- ・薬剤散布（ブンガノン）
- ・展示室 IPM メンテナンス（専門業者による清掃を含む。）
- ・モニタリングトラップ調査

更に、地方独立行政法人京都市産業技術研究所と、文化財の保護や修復、適切な保存及び収蔵環境の実現等に関する連携協定を締結（令和3年5月28日）し、収蔵環境調査を定期的実施する体制を整えました。

- ・令和3年10月27日テストピースの設置（以降1ヵ月毎にカビの発生状況を観察）
11月24日回収，25日再設置，12月23日回収，24日再設置，
1月26日回収，27日再設置，2月24日回収，25日再設置，
3月下旬回収，再設置（予定）

（参考）

	対 策	実施期日	経費
収蔵庫等緊急 対策処理	モニタリングトラップ調査	令和3年5月13日（1回目）～ 計12回実施	486,200円
	浮遊菌調査	IPMメンテナンス前に1回，12月 に1回	
	収蔵庫I PMメンテナンス （専門業者による清掃を含む。）	令和3年5月24日～26日	495,000円
	収蔵庫等虫害緊急対策処理	令和3年5月24日～26日	497,200円
	資料燻蒸処理（専門業者作業施設）	令和3年5月28日～29日	186,560円
	除湿器増設	令和3年6月3日～稼働 ・業務用：7台 ・家庭用：7台	産業技術研究所負担 家庭用は歴史資料館 99,880円
	サーキュレーター（空気循環機） 設置	令和3年6月24日～稼働 ・30畳用：9台 ・20畳用：3台	134,378円 文化財保護課負担 (57,461円)
展示室緊急対 策処理	薬剤散布（ブンガノン）	令和3年9月7日	456,720円
	展示室I PMメンテナンス （専門業者による清掃を含む。）	令和3年9月10日	
	モニタリングトラップ調査	令和3年9月10日（準備のための調査） ・令和3年10月3日～11月9日 ・令和3年11月9日～12月9日 ・令和3年12月9日 ～令和4年1月11日	

17 館内の整理・整頓

令和2年度に引き続き，地下倉庫等の整理・整頓を行い，機密文書については市指定業者を通じて廃棄しました。

18 広報活動の強化

令和3年度は，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため65日間閉館しましたが，令和4年2月末現在で入館者数が24,924人となっており，このまま順調に推移すると，開館以来の過去最高値である26,339人（令和元年度）を上回ることが見込まれます。

これは，京都市電という懐かしくも広く市民の方等に興味を持っていただける題材の展示会を開催し，特に若い年齢層の方にも多く御来場いただけたことが貢献したものと考えております。

そして，歴史資料館では，これまで以上に広報を充実・強化させ，歴史資料館の認知度を高めるため，令和3年1月8日より歴史資料館専用のFacebookを開設しておりますが，加えて令和3年10月からはTwitterも開始し，情報発信の充実・強化に努めたことも影響したものと考えております。

京都市歴史資料館の概要

京都市歴史資料館（昭和57年10月 設立）	
事業内容	京都市域の古文書を中心とした歴史資料の収集・保存・調査・研究・公開
収集資料	<ul style="list-style-type: none"> ・一次資料（古文書）：約184,000点 ・写真複写（古文書）：約2,085,700コマ ※2年度～デジタル化（目録）：約6,400点 （写真）：約9,000枚 ・マイクロフィルム（新聞）：約1,240,000コマ ・歴史一般図書：56,767冊 ・美術工芸品, 民俗資料：約210点
調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史料叢書の出版 ・研究紀要の発行
公開事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展示, テーマ展示, 企画展示 ・DVD映像 ・市民対象の各種講座 ・図書, 資料の閲覧 ・歴史相談 ・情報システム「フィールドミュージアム京都」発信
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都市政史」及び「叢書 京都の史料」編さん等を通して、積極的に資料収集を行ってきたが、その中心となるのは文献資料である。 ・公文書館ではない。 ・調査・研究を積極的に行っている。
施設状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地上2階・地下1階 ・ 敷地面積 1,183 m² ・ 延床面積 2,016 m²

(令和3年12月31日現在)

歴史資料館の利用状況について

年度	年度合計			土日関係			閲覧件数			相談件数			
	入館者数	開館日数	1日当り	入館者数	開館日数	1日当り	件数	図書	古文書	件数	電話	来館	郵便
27	17,398	288	60	7,126	100	71	1,228	913	315	969	496	452	21
28	21,957	286	77	9,948	101	98	1,440	1021	419	799	427	353	19
29	20,096	285	71	8,764	99	89	1,200	871	329	710	392	303	15
30	18,730	283	66	8,028	96	84	1,201	893	308	623	338	277	8
元	26,339	280	94	10,373	94	110	1,178	775	403	568	272	282	14
2	18,897	252	75	7,305	87	84	748	481	267	501	307	173	21
2 (4~2)	16,973	230	74	6,644	80	83	702	448	254	466	284	162	20
3 (4~2)	24,924	202	123	11,209	71	158	605	382	223	396	263	121	12

【参考】前年度比 数値比較 … 3度/2年度

○ 入館者数 ⇒ 46.9 %増

○ 土日入館者数 ⇒ 68.7 %増

○ 閲覧件数 ⇒ 13.8 %減

○ 相談件数 ⇒ 15 %減

※令和元年度入館者数増の要因

特別展「京都市指定の文化財」及び

令和2年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の
効果による。

歴史資料館ホームページアクセス数

年度	トップページ	1日当たり
27	40,731	112
28	53,478	147
29	69,874	191
30	83,314	228
元	99,021	271
2	64,487	177
2 (4~2)	60,804	182
3 (4~2)	46,440	139

【参考】前年度比 数値比較…3年度/2年度

23.6 %減

京都市情報館ホームページ作成支援システムアクセスカウント数

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
令和2年度は、4月7日より5月17日の間(32日間)、閉館。
令和3年度は、4月25日より5月31日の間(28日間)及び
8月20日より9月30日の間(37日間)、計65日間閉館

資料の収集状況について

1 館蔵資料の受入れ状況

(受入れ件数は、R3.3.31現在)

	29年度	30年度	元年度	2年度	総数
一次資料（古文書）	約 30,000	約 1,400	約 610	－ ※1	約 184,000 点
写真複写（古文書） 2年度～デジタル化 ※2 目録 写真	－	－	－	約 2,000 約 9,000	約 2,085,700 コマ 約 6,400 点 約 9,000 枚
マイクロフィルム・ デジタルデータ（新聞）	約 20,000	約 20,000	約 20,000	約 20,000	約 1,240,000 コマ
図 書	195	211	213	258	56,767 冊
美術工芸品等	絵画，屏風，秤，枡，町旗，籠，消火器，つづら，祭具等				約 210 点

※1 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鑑定評価委員会が開催できなかったため、一次資料（古文書）等の受入れは無い。

※2 古文書等のデジタル化は、館所蔵のうち、重要資料やデジタルデータの活用が見込まれるものから重点的に実施している。

2 収蔵資料文化財指定の状況

	件数	点数	内 訳
重要文化財	5 件	3,900 点	兵庫北関入船納帳 1 冊 福井家旧蔵京枡座関係資料 2,139 点 八瀬童子関係資料 741 点 岩倉具視関係資料 1,018 点 古今和歌集 下 1 冊
市指定・登録文化財	25 件	13,201 点	岩倉具視関係資料 109 点 賀茂季鷹関係典籍類 1,268 点 京都市参事会文書 158 点 等

3 寄付受納物件（過去5年間）

年 度	品 名	数 量	寄 贈 者
平成 28 年度	古文書	約 280 点	大野 氏隆
	古文書・制札	約 500 点・3 点	徳田 正彦
	衣装・制札	17 点・2 点	中村 勇
	古文書	1 点	石塚 晶子

	和本・漆器	8点	五十嵐 高明
	古文書・書画	478点	山下 信子
	古文書	約40点	遠藤 慶子
平成29年度	古文書など	約60点	杉村 正臣
	古文書	約30,000点	田中 子朗
	古文書	11点	田村 昌巳
	絵図	2点	上田 壽一
	絵はがき	7点	雁瀬 一郎
	古文書	1点	倉内 仁
	古文書	7点	岩佐 敦子
	古文書・看板	1点・4点	西田 俊一
	古文書・木箱	44点・1箱	武内 一樹
	掛軸・短冊	66点	澤井 多年夫
平成30年度	古文書	1点	鹿谷 逸郎
	古文書	2点	中井 博一
	古文書	約50点	大嶋 正博
	古文書・書画・版本	40点	福田 叡子
	図面・書類など	約260点	間野 嘉津子
	鉢巻・地図	5点	藤野 正弘
	和菓子関係道具類	118点	杉谷 禎治
	版本・洋装本・写本	924点	西山 洋
	額	2点	大岡 千鶴子
令和元年度	絵葉書集など	8点	文寿 誠二
	胸像	1点	大野 茂
	写真など	140点	山根 涉
	図書	1点	山添 敏文
	古文書・装束など	約60点	小西 弘泰
	絵図	1点	田中 良夫
	絵葉書	10点	中野 繁成
	地藏盆飾り・祠	一式・1棟	下高倉町
	地藏盆前掛など	4点	本能寺町
	陣笠・肖像・書状など	約50点	後藤 欣哉
	古文書	165点	門田 邦代
	古文書など	154点	福屋町内会
	カメラ・レンズ・アルバム	7点	塩見 昌平
令和2年度	—	—	—

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、鑑定評価委員会が開催できなかったため、寄付受納物件は無い。

令和 4 年度事業計画 (案)

1 展示

種 別	テ ー マ	内 容	期 間	目標入場者数
企画展	「村の“さむらい”たち -刀を差した農民もいた-」	明治時代までの京都は、市街地の四周を農村が囲んでいました。その村々のなかには、「郷土」と呼ばれる人々が暮らしていたところもありました。百姓でありながら、武士としての側面ももっていた「郷土」のようすを、主に古文書によって紹介します。	2.18～ 5.15 (71 日間) (令和4年度36日間) ナイトミュージアム 4.20 (ギャラリートーク) ギャラリートーク 5.12	・目標入場者数 令和4年度 3,240人 (1日平均約90人)
特別展	歴史資料館開館40周年記念 「歴史資料館がある場所 -御所の東の今と昔-」	近年「御所東」と称されることの多い歴史資料館の周辺地域は、平安京の時代から明治時代に至るまで、幾度となく京都の歴史上でも注目を集める場所でした。会館40周年を記念し、資料館を含む「御所東」の歴史について、館蔵史料や各遺跡からの出土遺物をもとに、平安時代から現代までを紹介します。	前期： 6.4～ 8.14 (61 日間) 後期： 8.20～10.23 (55 日間)	・目標入場者数 11,600人 (1日平均約100人)
特別展	歴史資料館開館40周年記念 「林屋辰三郎と燈心文庫」 (仮題)	日本史はもちろんのこと、京都の歴史に関して多大な業績を残された林屋辰三郎氏の足跡を、燈心文庫をはじめとする寄贈資料を通じてたどりながら、京都の市史編さん事業や歴史資料館の歩みについても振り返ります。	前期： 10.29～ 1.22 (65 日間) 後期： 1.28～ 4.9 (59 日間) (令和4年度116日間)	・目標入場者数 11,600人 (1日平均約100人)

※太字は、歴史資料館開館40周年記念事業

2 講座等

講 座 名	テーマ・内容	開催月日	会場	講師
シンポジウム	京都市歴史資料館開館40周年記念 「京都御所と公家の住む町」(仮題) ○記念講演 講師： ○パネルディスカッション パネリスト コーディネーター 吉住 恭子(京都市歴史資料館歴史調査員)	9	上京区役所	左記
歴史講座	歴史資料館開館40周年記念 特別展「林屋辰三郎と燈心文庫」展関連歴史講座	-	-	未定
トークイベント	歴史資料館開館40周年記念 「歴史資料館のこれからを探る」(仮題)	11	-	未定

連続講座 「古文書を楽しく読もう！」	春期連続講座 A組（初級編）13時 B組（中級編）15時	5. 25, 6. 8 6. 15, 6. 22	-	野地 松中
	秋期連続講座 A組（初級編）13時 B組（中級編）15時	10月下旬 ～ 11月上旬	-	尾下 井上
ギャラリートーク	企画展「村の“さむらい”たち －刀を差した農民もいた－」	4. 20 (ナイトミュージアム) 5. 12	歴史資料館	井上
	特別展「歴史資料館がある場所 -御所の東の今と昔-」	-	歴史資料館	吉住
	特別展「林屋辰三郎と燈心文庫」(仮題)	-	歴史資料館	野地

※太字は、歴史資料館開館40周年記念事業

3 講師派遣(他機関主催講座等への出講)

講座名	テーマ・内容	開催月日	会場	講師
重要文化財 京都府庁旧本館 旧議場土曜講座(新規)	「歴史資料館がある場所 -御所の東の今と昔-」	6. 18	京都府庁旧本館	吉住
京都府立鴨沂高等学校授業	-	-	鴨沂高等学校	井上
京都学歴彩館との 連携	京都学ラウンジ・ミニ講座 ※京都市共催 「林屋辰三郎と燈心文庫」 (仮題)	12. 22	歴彩館	野地
アスニー京都学講座	「林屋辰三郎と燈心文庫」 (仮題)	1. 14	京都アスニー	未定

4 資料の調査・収集・整理・保存・研究

京都の歴史に関する研究センターとしての役割を担うため、京都市域の歴史に関する古文書などの調査・収集に、大学等の外部研究機関とも連携して進め、収集資料の整理・保管・研究を行っていきます。

(1) 収蔵品台帳・目録の整備

歴史資料館の使命は、「京都の歴史に関する資料の保存及び活用を図り、市民の文化の向上及び発展に資する。」ですが、所蔵する館蔵品・寄託品の内容把握が、受入れが膨大となり十分とは言えない状況にあります。

そこで、収蔵品台帳・目録の整備を重点的に対応します。

最終的には、目録を作成するなかで、明らかとなった貴重な資料は、市指定文化財の指定に繋げ、長く保存・活用される道筋を明らかにするとともに、目録の公開（HP等）を通じて、市民等の活用に資するよう目指します。更に、詳細な調査・研究を必要とする貴重な資料は、大学等と共同研究を行い、その成果を発表（HP等）・活用（出版物等）し、広く市民等の活用に還元する道筋を明らかにしていきます。目録・画像データのデジタル化により、検索を容易にし、インターネット等において収蔵品の魅力の発信に努めていきます。

令和4年度は、歴史調査員自らが対応件数は限られるものの収蔵品台帳・目録（画像データも含む。）の整備を引き続き進めていきます。

【松中、秋元、尾下、吉住、野地、井上】

(2)京都市の個人所有古文書調査事業の実施

個人所有の古文書調査は、目録の作成、高精細デジタル撮影による資料整理を行い、目録を刊行・公開することにより、資料の有効活用に加え、資料の散逸を防ぎ、将来的な資料の保存に努めることを目的とし、令和元年度より4ヵ年計画で、文化庁の「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」の国庫補助を受け、大学教授らを中心とする京都市古文書調査会（歴史資料館職員も参加）に委託し、実施しています。

令和4年度は、令和元年度より調査を進めてきた「熊谷（純）家文書（約3,000点）」及び「下村（忠）家文書（約200点）」の報告書作成・刊行を行います。

【秋元】

(3)京都女子大学母利研究室との連携による善峯寺・金蔵寺調査

現地での資料調査に引き続き参加します。

【秋元，野地】

(4)文化庁の興聖寺一切経調査

歴史資料館からも調査に参加します。

【野地，井上】

(5)国文学研究資料館による画像データ作成

国文学研究資料館が、スキャナーを貸し出し山本家典籍（京都市指定文化財）のスキャンニングの作業を行います。

【松中】

(6)大谷大学による今江家文書調査

所蔵者の了解の下、大谷大学へ今江家文書を貸し出し、京都市の指定に向けた調査を行います。文書は大学博物館収蔵庫にて管理します。

【松中】

(7)東京大学史料編纂所による岩倉具視関係資料調査

東京大学史料編纂所において、対岳文庫から京都市に寄贈された岩倉具視関係資料の本格調査・デジタル撮影を行います。

【松中】

(8)八瀬童子関係資料の修理

当館に寄託されている重要文化財八瀬童子関係資料の文書・記録類650点のうち、令和4年度分の修理を行います。

【松中】

(9)京都芸術大学伊達研究室・京都産業大学村上研究室による当館収蔵民俗資料の整理

当館寄託神家京秤座関係資料の整理・調査を実施します。

【松中】

(10) 京都大学「みやこの文化・学術資源研究拠点創成プロジェクト—「産学芸信アーカイブ」の共創」への連携参加

令和3年度に文化庁へ申請し、採択されれば令和4年度から開始となります。

事業計画期間：令和4年度～9年度〔6か年計画〕

対象：浜岡家・田中源太郎家などを検討中

【秋元】

5 地域と共働した博物館創造活動支援事業

（京都の複数の歴史文化施設がクラスターを形成し、多様な事業を展開）

地域の文化財の魅力発信、地域振興など、美術館・歴史博物館を中核とした関係機関との連携による文化クラスター創出に向けた取組を支援する文化庁の補助事業を活用した「京都歴史文化施設クラスター実行委員会」に参画しています。

令和4年度についても、関係機関と連携し、各種事業を実施することとしております。（協議中）

【野地】

6 「京都祇園祭の山鉾行事」歴史資料調査事業への協力

山鉾連合会は、2023年に設立100周年を迎えることから、近代の祇園祭の資料調査を行い、その研究成果を蓄積し、記念誌などが作成されます（令和2年度から6年度の5か年事業）。

このうち、山鉾町関連資料や八坂神社関連資料の調査に協力します。

これまで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため作業が遅れたため、令和4年度から本格的に調査を実施することになります。

【野地：山鉾町関係、吉住：八坂神社関係】

7 資料館外貸出

他の博物館や美術館での展覧会に、当館の館蔵及び寄託資料を貸し出し出陳する依頼があった場合、貸出申請の手続きや資料の貸出・返却時に立ち会うなどの業務を行いません。

【吉住、井上】

8 画像利用許諾

館蔵及び寄託資料について、主に以下のような理由で資料の撮影や画像使用を希望される場合、特別利用や掲載許可の申請手続きや画像データの提供・撮影時の立ち会いなどを行います。

—特別利用の申請—

(1) 原資料を写真撮影・ビデオ撮影する。

(2) (1) で撮影した画像や当館が提供した画像データを使用して、テレビ番組等で放送したり、オンデマンド配信する。

(3) 大学の授業や各種講演会の際に、PowerPoint等で画像を使用し、それをオンデマンド配信する。

—掲載許可の申請—

(4) 出版物に図版として写真を掲載する（電子書籍版も含む）。

歴史資料館の所蔵資料の画像データについては、令和2年度まで使用目的にかかわらず、貸出申請のうえ無料で提供してきましたが、出版物等の商業目的については、利用者に一定の利益が見込まれることから、令和3年度から「京都市歴史資料館貴重資料特別利用取扱要綱」に基づき画像貸出に係る経費を負担願っています。

令和4年度収入見込み額 @4,000×120件=480,000

【吉住, 井上】

9 貴重資料閲覧

館蔵及び寄託資料について、主に以下のような理由で原資料の閲覧を希望される場合、貴重資料の閲覧許可申請の手続きや貴重資料の閲覧に立ち会うなどの業務を行いません。

- (1) 閲覧希望資料が整理中で、未だ写真撮影がされていない。
- (2) 撮影済みで写真帳として公開しているが、写真では不鮮明な細部の確認を必要とする。
- (3) 博物館や美術館での展覧会に原資料の出陳を申請するに際しての事前調査。

【吉住, 井上】

10 歴史的公文書の調査・指定

歴史的公文書の調査及び指定を行います。

(参考)

指定件数 1,792 件 (令和3年12月31日現在)

内訳：市参事会文書 156 件, 編入町村引継文書 573 件, その他 1,063 件

※ 令和3年4月, 総合企画局政策企画調整担当文書(府市協議, 国家予算に関する要望) 69 件, その他 1 件, 計 70 件を追加。

【秋元】

11 資料の供用・普及

収集・撮影した古文書などの資料及び所蔵する図書の整理・公開を進めます。また市民の方からの歴史に関する相談に対応します。

【尾下】

12 情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」の運営

京都市内にある歴史的資源の情報を、情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」として、インターネットで発信しています。項目の追加・修正を中心に、サイト運営を行います。

【井上】

13 博物館実習生等の受入

京都市内の各大学からの要請を受け、博物館実習生を受け入れ、館員の指導による実習を実施します。

・博物館実習 令和4年8月23日(火)～27日(土)

【秋元】

14 広報活動の強化

令和3年度に引き続き、Facebook 及び Twitter を活用した集客増加策等を進めます。

15 収蔵庫等環境改善事業

令和3年度、環境調査を実施したところ、収蔵庫等から、カビ及び害虫による被害を確認したことから、IPM メンテナンス等を実施しましたが、範囲が広範囲であったため概略的な対応にとどまりました。

今後は、数年に分け、各収蔵庫等を順番に詳細な対応を実施する予定です。
令和4年度は、特別収蔵庫及び第2収蔵庫（半分）を対象とします。
実施期間：令和4年5月17日～5月27日

16 収蔵庫系統空調設備改修工事(冷却水循環装置更新事業)

歴史資料館は、令和4年度に開館40周年を迎えます。空調等の設備類も40年を迎え、修理部品が無くなってきていることから、故障し修理が不可能な状況になれば、館運営はもちろんのこと収蔵品への影響が懸念されます。

そこで、令和4年度は、収蔵庫系統の空調設備の改修工事を予定しております。館運営への影響が最小限になるよう担当部局と協議を進めているところです。

令和5年度以降も順次改修工事を進めることにより、館運営の機能維持に努めたいと考えています。

実施期間：調整中

京都市歴史資料館 歳入・歳出 予算・決算額 推移表

[歳入]

(単位：千円)

		4年度(案)		3年度		2年度		元年度		30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
消費枠	刊行書籍販売	702	-	1,702	-	1,702	885	502	298	502	787
	資料コピー料金	300	-	300	-	300	186	300	274	300	262
	古文書講座受講料	768	-	768	-	384	184	384	368	384	354
	補助金等	1,000	-	1,000	-	1,000	1,000	1,000	1,000	3,500	3,100
		京都市の古文書調査事業			京都市の古文書調査事業		京都市の古文書調査事業		京都市の古文書調査事業		明治150年記念事業「いま明治を考えるプロジェクト」
	画像利用料	480	-	316	-	-	-	-	-	-	-
	展示解説書	430	-	-	-	-	-	-	-	-	-
投資枠	市債・行政改革推進債	17,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		特別収蔵庫等冷却水循環装置更新事業			-		-		-		-
計		20,680	-	4,086	-	3,386	2,255	2,186	1,940	4,686	4,503

[歳出]

(単位：千円)

		4年度(案)		3年度		2年度		元年度		30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
消費枠	歴史資料館管理運営	14,029	-	13,987	-	13,987	13,192	13,844	12,297	14,555	13,449
	その他	2,050	-	2,050	-	2,000	1,980	2,000	1,978	7,000	6,361
		京都市の古文書調査事業			京都市の古文書調査事業		京都市の古文書調査事業		京都市の古文書調査事業		明治150年記念事業「いま明治を考えるプロジェクト」
	その他	-	-	-	-	2,800	2,653	2,100	1,981	-	-
		-		-		京都市の文化財展		ICOM京都大会連携 京都市の文化財展		-	
	その他	-	-	1,000	-	1,000	500	-	-	-	-
		-		資料叢書編さん		資料叢書編さん		-		-	
	その他	-	-	-	-	4,000	3,762	-	-	-	-
	-		-		歴史資料館収蔵資料のデジタル化等		-		-		
投資枠	歴史資料館整備	17,970	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		特別収蔵庫等冷却水循環装置更新事業			-		-		-		-
計		34,049	-	17,037	-	21,987	22,087	17,944	16,256	21,555	19,810

※文化市民総務費を除く

令和 2 年度 京都市歴史資料館評議委員会議 議事録

1 日時 令和 3 年 3 月 2 5 日 (木) 午後 3 時～午後 4 時 3 0 分

2 会場 同志社大学 新島会館 2 階 E 室

3 出席者

評議委員：荒木かおり，宇佐美英機，片山真理子，坂本博司，竹村佳子，
武川寛

京都市：文化市民局文化芸術推進室 山口担当部長，文化財保護課中川課長
歴史資料館 井上館長，中村次長，田頭，松中，秋元，吉住，野地

4 欠席者 評議委員 玉城玲子

5 傍聴者 なし

6 議事運営

(1) 開会

【京都市】

本日は年度末のたいへんお忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。

只今から令和 2 年度京都市歴史資料館評議委員会議を開催させていただきます。まず，最初に，令和元年度京都市歴史資料館評議委員会議につきましては，新型コロナウイルス感染拡大防止をはかるため，お集まりいただいていた開催は見送らせていただき，書面により御意見をいただくかたちとなりましたことをまずお詫び申し上げたいと思います。

さて，本日の会議につきましては，京都市市民参加推進条例第 7 条に基づき，公開とさせていただきます。

それでは，開会にあたりまして，ご挨拶申し上げます。

(2) 開会あいさつ

【京都市】

年度末のお忙しいところ，当館評議委員会議に御出席いただきまして厚く御礼申し上げます。現在，最大の関心事である新型コロナウイルス感染症問題は，歴史資料館におきましても入館者数等に非常に大きな影響を被っております。京都では，令和 2 年 4 月 1 6 日から 5 月 2 1 日，この間 3 6 日間非常事態宣言が出され，当館では 4 月 7 日から 5 月 1 7 日の間，閉館の処置を致しました。また，本年 1 月 1 4 日からの二度目の非常事態宣言の間は，閉館することなく，感染対策をしっかりと出すということで開館は致しましたけれども，入館者数には大きな影響がございましたことを申し上げます。

さて，本日は令和 2 年度の歴史資料館の事業の実施状況，また令和 3 年度の事業計画などを報告させていただき，御理解をいただくという予定であります。

京都市では，令和 3 年度から新型コロナウイルス対策ということで，財政再建の問題に取り組まなければならないとなっております。それに伴いまして公共事業の先送り，市主催

イベントの休止や廃止など、様々な財政改革がすすめられております。そのような中から様々な努力を重ねながら、当館の設置趣旨でございます「京都の歴史に関する資料の保存、及び活用による市民の文化の向上及び発展」、これをしっかりと守って邁進して参りたいと考えております。当館には約13万点にもものぼる古文書を始めといたしまして美術工芸品、民俗資料、こういったものを収蔵しております。また、一般市民の皆様方、そして日本の、世界の研究者の利用に供しておりますけれども、収蔵品の検索のデジタル化がなかなか進んでいないこともありまして、一刻もその状況を改善、解消するためにデータのデジタル化を現在進めております。当館には、施設面の課題などまだまだございますが、小課題を克服する取組を進めるのはもちろん、市民の皆様の関心を高める取組も進め、歴史資料館の利用、来館者の増加につなげまして、より一層市民、あるいは国民の皆様の文化の向上、発展に役立つ施設となるよう努力して参りたいと考えております。

本日は、会議におきまして、皆様から様々な御忌憚のない御意見を賜りまして、今後の取組に活かして参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 出席委員・出席者の紹介、配付資料の説明

(4) 令和2年度事業報告説明、質疑

(資料3に基づき説明)

【評議委員】

マイクロフィルムの修理の件。これは劣化したフィルムを洗いにかけて、デュープをとったということでしょうか？

【京都市】

その通りです。劣化が特に進んでいるものの洗浄を行いまして、そのうえでデュープを作成しました。

【評議委員】

その点ですが、デュープをとってもまた劣化してしまうので、それを電子化(デジタル化)するという方針はありますか。

【京都市】

具体的な工程には入っておりませんが、そういうことをやろうとなった時に、修復したフィルムが使えると考えています。そのための前提としてデュープの作成を行っています。

【評議委員】

マイクロフィルムのリーダープリンターをメーカーが作らなくなるとか、CHの紙を作らないという状況になっているので、フィルムを持っていても、長期保存としてはいいけれども、長期的にはどうしようもなくなってくるということがどこの施設でも困っています。予算を取って電子化する方向で考えていった方が保存ということを考えるとそちらの方がいいと思います。お金はかかります。(マイクロフィルム)1本600コマを電子化するのに、高いところだと3万円くらいしますので、すぐにできることではありませんが、長期的には考えておかないといけない問題だと思います。

【京都市】

貴重な御意見ありがとうございます。現在、歴史資料館では、マイクロフィルムの修復の予算を何とか工面して捻出している状況ですが、一方で、古文書調査事業の一環で既存のマイクロフィルムからデジタル化することも少しずつ進めています。かつては地域や個人宅で保管されていた古文書がその後散逸するなど、現在ではマイクロフィルムとしてしか確認できない古文書も少なくありません。デジタル化も含めて、活用できるようにしていきたいと考えています。

【評議委員】

Facebook を開設したということで、こまめに更新もされていて画期的なことだと思っています。今回の展示(名品展)も素晴らしいので、ホームページの改善も含めて、このようなツールを活用して、どんどんアピールされるとよろしいかと思っています。

文化財の修復に関わっている関係で、古写真を参考にしたいことが多くあります。このような古写真がどこにあるのかということがわかりにくいので、デジタル化されて、リストが公開されるなど、どのような資料が、どこにあるのかということをもとめて見られる状態にしていただけると有り難いです。

予算のこと、人材のことなど問題は多いと思いますが、せっかくの宝をたくさんお持ちなので、何がどこにあるのかということを広く公開していただければ、もっと活用されるのではないかと思います。

【評議委員】

写真のことで、サンフランシスコ公共図書館をネットで利用しているが、ここには古写真のコレクションがあり、これは世界中どこからでもアクセスできるようになっています。正式に使用する場合には有料で申請が必要ですが、そのような利用の仕組みになっています。長期的に、このような古写真を公開している施設を参考にして、古写真を利用できるようになるとよいと思います。また、鶏卵紙の写真の修繕もお金がかかるが、いい写真があるのであれば予算を取られたらよいと思います。

もう一つは、叢書京都の史料です。資料を活字化していただけるのは有り難いのですが、次にどのような資料を叢書として刊行するのか、(外部から)リクエストを受け付けてくれるような仕組みがあるとよいと思います。他の所の資料で、京都のことを研究している人たちが、叢書にしてほしいというものをリクエストできると有り難いです。

【評議委員】

(資料3の7)「資料の供用・普及」について、(市民からの)相談を受けているということですが、どのようにされていますか？具体的な資料、所蔵資料などをリクエストしたら見せていただけるのでしょうか？

【京都市】

一般的な図書につきましては、2階の閲覧室で御覧いただけますし、閉架のものも出してきて御覧いただけます。それ以外の資料につきましては、目的なども伺いながら、申請していただいて、閲覧していただくというように極力対応するようにしています。

【評議委員】

いわゆる研究者が調査の依頼をして、対応するということですね。

【京都市】

はい。ただ、研究者だけではなく、地域の方々なども対応させていただいております。

【評議委員】

わかりました。歴史資料館では、そのような(歴史相談や資料公開の)スキルをお持ちなので、広報されたり、そういった機会を広げて、イベントのようにされると、もっと裾野が広がるのではないかと思います。

【評議委員】

私は、開館当初、歴史資料館におりましたけれども、その頃に比べまして、事業の質・量の増加に大変驚いています。マイクロフィルムの話で、原本がなく歴史資料館のマイクロフィルムしか残っていない古文書があるのは確かだと思います。デジタル化もそういった資料を優先するべきと思いました。市史(『京都の歴史』の編纂)と連動した調査でしたので、町内会や市民へのアフターケアがしにくいという問題があるのだらうと思います。

それから、地蔵盆の道具が寄贈されたということですが、それは、その町内の地蔵盆がなくなったと理解してよろしいのでしょうか。

【京都市】

はい。お子さんがいらっしゃらないので、もうできないということで、この機会にというお話でした。

【評議委員】

ひとつは、マイクロフィルムのデジタル化ですけども、デジタル資料は保存という点では向かないが、閲覧という点では活用できることから、有効に閲覧に活用していただいて、将来的にはホームページからでも見られるような形にしていただけたらと思います。

もうひとつは、今、テレワークの時代になってきていますし、京都アスニーの講座を YouTube にアップされているということで、ギャラリートークをされていますが、そういった展示品を見せながら、声での説明を YouTube にアップしていただく。もちろん本物を見るのは大事ですけども、ウェブ社会になってきたら、そういう形で存在感を高めていただけたらと思います。

展示を見せていただいて、こちらの資料館で収蔵されているものは立派なものがあって、こんな小さな建物で意外にいろいろとお持ちになっているということを第1回の時にも感じました。ですので、こういう機会にどんどん収蔵品を市民にアピールしていただきたいです。

【評議委員】

経営の視点からの意見ですけども、資料を見ますとだいたい(来館者数が)毎年1日平均80人前後だと思いますけれども、前回の京都市の文化財展は異常値ともいえる数字が出ていると思います。この違いには何があったのか。展示の内容が違うのか、それとも関心と呼ぶものがあったのか、そういうことをしっかりと分析して、次の企画を計画していく上で非常に参考になるのではないかと思います。素人の感覚でも文化財展は人が入る展示だと思いました。また、この時のリーフレットも、京都駅の観光案内所の入ってすぐのところに置かれておまして、非常に目立ったのかなということもあります。まだまだ、工夫の余地はあると思います。入館料が無料ですし、入館者におもねる必要もないし、また市民文化を伝承するという高い視点からの展示も必要ですけども、入館者を増やして、知名度を上げて、歴史資料館の存在価値を広めていくという視点からすると大事なことだと思います。

(5) 令和3年度事業計画説明、質疑

(6) 歴史資料館運営予算について、質疑

(資料4・5に基づき説明)

【京都市】

何かございますか。

【京都市】

一年間、歴史資料館を拝見しました。先生から申されましたように、施設が小さいながらも中身の濃い展示をしているというのが正直なところだと思います。施設が小さいこともありまして、なかなか多岐にわたる事業をしながらも、進まないということがあるかもしれません。個々の課題としまして、デジタル化や本物を見るということが必要だろうと思いますし、コロナ禍は当面続く可能性がありますので、この機会に本物を見ることとデジタルの使い分けの取組がうまくできたらと思います。フィルムデジタル化も緊急の課題だと思います。ただ、それに対してやはり予算の話が出てくると思います。本日の説明にもありましたように、京都市の予算は非常に厳しい状況だと思います。ただ、そうではありながらもいろいろなことを考えていかなければいけない。

それから、個人的に足りないと思うことは、歴史資料館としてもっとアピールをしたいと思っています。ちょっとしたことで大きくアピールするくらいのことが必要で、それをしていかないと、歴史資料館の存在感もありますし、市民や市の担当者にも響かないということもあります。頑張っていきたいと思っていますので、先生方にも引き続き御意見を賜りますようよろしくお願いいたします。

【評議委員】

京都市部局の方をお願いしたいと思います。歴史資料館単体では、やはり周知という面で難しいところがあります。京都市の同じ部局、例えば、二条城や下鴨別邸、京セラ(美術館)もありますので、そこに行って「京都市歴史資料館があるんだ。」ということがわかって、相互に来館者が増えるような、そういう取組には予算もありませんし、是非お願いしたいと思います。

それから、京都市電の企画展ですけれども、非常に近い歴史ですので、市民の皆さんも思い出があると思います。そういう思い出を語らう場があってもいいかなと思いますし、鉄道好きな方の事をテレビなどでもやっていますので、この企画にテレビ局がのってくれないかという話の持ち込みもできないか。そうすれば入館者もものすごく増えると思います。

【京都市】

ありがとうございます。広報の件ですが、そこはしっかりとやっていきたいと思っています。Facebookもございますし、いろいろな形で広報していくことは必要だろうと思っています。

また、市電展につきましても、文化財保護課や市とも連携をしながら歴史資料館でやっ

ていくということで、非常に敷居の低い企画だと思っています。その点でも、いろいろなアイデアを入れて、注目いただけるような、また来館に繋がるような企画、取組にしたいと思っています。

【京都市】

それでは、今日いただきました御意見を踏まえまして、令和3年度の運営に活かして参りたいと思います。ありがとうございました。

最後に、評議委員の改選についてでございます。市民公募の委員につきましては2年間お世話になるという規定になっておりまして、武川委員には本年度末をもちまして御退任いただくこととなっております。そこで、来年度からの委員を募集いたしましたところ、8名の御応募がありました。その中から、応募動機・意欲・積極性・論文のまとまりを評価させていただきまして、中尾様にお願いすることに決定しております。

市民公募以外の委員6名の方に関しましては、次期2年間も引き続きお世話になりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これにて閉会とさせていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

以上